

プラチナラッシュ  
PLATINUM **RUSH**  
▶ HIGH-END GLASS COATING

最高峰の光沢を放つ

最新版 2022/11 【施工マニュアル】



施工動画マニュアルはこちら

1年に1回のメンテナンスで5年耐久

膜厚7ミクロン、硬度9Hの強靱な被膜を形成し3層構造の特殊被膜により超滑水コーティングを実現。

## コーティング前の準備

### 準備する物

- |                       |                              |
|-----------------------|------------------------------|
| ①プラチナ RUSH コーティング剤セット | ②プラチナ DROP(仕上げ剤)             |
| セットに含まれるもの            | ③RUSH スポンジ(マイクロファイバー巻き&無し)   |
| 1. プラチナ RUSH 主液&反応液   | ④プラチナクロス(固絞り)                |
| 2. 白マイクロファイバー         | ⑤プラチナクロス(乾いたクロス)仕上げ拭き用       |
| 3. 施工証明書              | ⑥プラチナクロス(乾いたクロス)ライトチェック用     |
| 4. 施工済みステッカー          | ⑦拭きムラチェック LED ライト or チェックボード |
|                       | ⑧タイマー ⑨窓ふきタオル                |



## 新車の場合の下地処理

脱脂シャンプーにて洗車をしてしっかり拭き上げて乾いた状態で施工する。

※拭き上げの際はエアブローをして隙間の水滴もしっかり追い出して下さい。

## 経年車の場合の下地処理

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| ①状態の良い車両 or<br>コーティング再施工車両 | : 洗車→クレンジングオフ(研磨剤入り水垢落とし)→洗車→拭き上げ                  |
| ②ダメージのある車両                 | : 洗車→側面スケールクリーナー 上面ウォータースポットクリーナー→洗車→艶だし研磨→脱脂→拭き上げ |

クレンジングオフ



スケールクリーナー



ウォータースポット  
クリーナー



## 【施工の手順】 プラチナ RUSH コーティング剤

①コーティング剤主液に反応液を残さず入れて 30回上下に振って混ぜ合わせる。 ※24時間以内なら使用可能

②タイマーで時間計測をスタートし、RUSH スポンジにマイクロファイバーを巻いて、塗り始めは6滴付ける。  
その後は1スパンで3滴程度付けて施工する。

※コーティング剤のビンの口をマイクロファイバーでしっかり塞いで上下に振ってクロスに付ける。

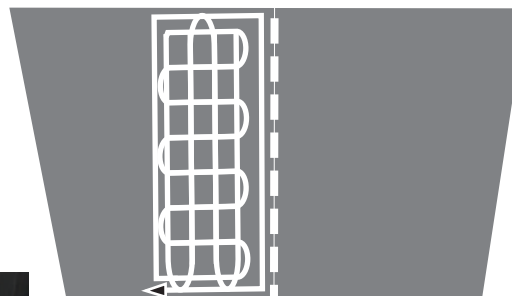
液を付ける時はなるべく端に付けると、フチまでしっかり施工しやすくなる。

**塗り方は、ヨコ・タテ・枠の順に隙間なくしっかり塗り広げる。** ボディー全体を一気に塗り広げる。

**全体を塗り終えたら15分経過するまで硬化させる。**

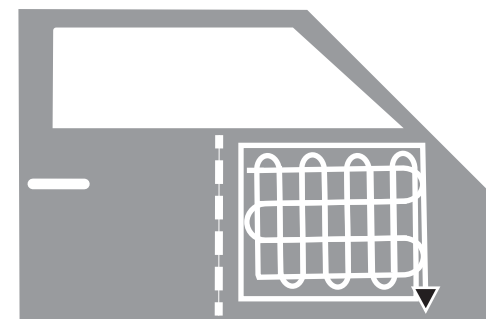


ボンネット



ボンネットを4分の1に分けた面積を1スパンとして塗り広げる。

ドアパネル

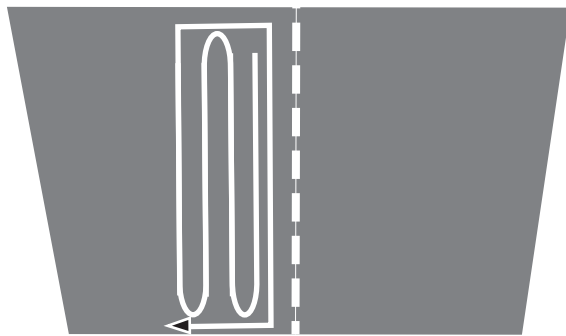


ドアパネル2分の1に分けた面積を1スパンとして塗り広げる。

## 【施工の手順】 プラチナ DROP

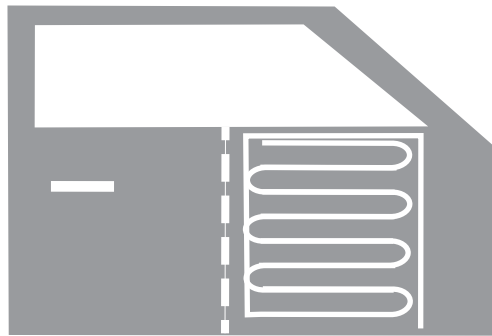
①15分経過し（最大30分以内でお願いします）プラチナ RUSH が硬化したら、再度タイマーで時間計測をスタートし新しい RUSH スポンジ（マイクロファイバー巻いていない状態）に塗り始めは6適付ける。その後は1スパンで3適程度付けて施工する。塗り方は、ヨコ・柵の順にしっかり塗り広げる。ボディ全体を一気に塗り広げる。

ボンネット



ボンネットを4分の1に分けた面積を1スパンとして塗り広げる。

ドアパネル



ドアパネル2分の1に分けた面積を1スパンとして塗り広げる。



【プラチナ DROP は開封後もキャップをしっかり閉めて密栓し、直射日光の当たる所や高温（30℃以上の所）を避けて保管して下さい。保管方法を守っていただくことで開封後も使用可能です。】

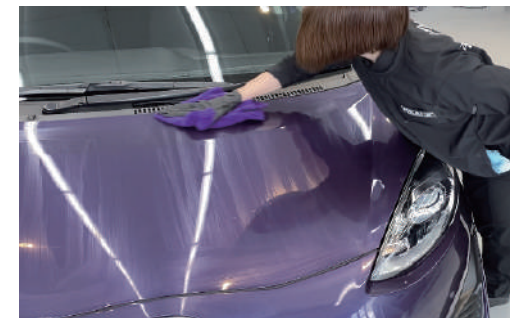
### 硬化時間の目安について

硬化時間はあくまでも目安です。目立たない所をクロスで拭いてみてコーティング剤が伸びない状態であれば硬化 OK です。





## 【施工の手順】 拭き上げ～仕上げ



①30分以上硬化（最大120分以内）させてから拭き上げ開始します。

固く絞ったプラチナクロス（紫色）で拭き上げて余分なプラチナ DROP をキレイに拭き取ります。

次に乾いたプラチナクロスで仕上げ拭きします。 ボディー全体を一気に拭き上げます。

拭き上げスパンはボンネット半分の面積を1スパンとする。 側面はドア1枚を1スパンとする。

②ボディー1周仕上がったら、次にムラチェック LED ライトもしくはチャックボードでムラをチェックします。

ムラが残っている箇所は、新しいプラチナクロスで乾拭きするとキレイになります。

見る角度を変えて、ムラが無いか良くチェックします。

③窓拭き、タイヤワックスで仕上げて完成。 出来れば最後に外に出してムラが残っていないか最終チェックする。

### 硬化時間の目安について

拭き上げる前の乾燥時間はあくまでも目安となります。 目立たない所をクロスで拭いてみてコーティング剤が伸びない状態であれば拭き上げを始めて OK です。



コーティング完成後、最低4時間は水に濡らさないで硬化させる。純水にて強制的に硬化させる場合は純水を噴霧して拭き上げして1時間硬化させる。完成後、24時間は洗車を避けて下さい。